



昨年春から、新型インフルエンザが猛威をふるい、社会的にも大混乱をきたしました。ワクチンの準備が遅れ、世界的大流行(パンデミック)を引き起こしたとも言われています。冬に入り従来の季節インフルエンザとともにさらなる感染拡大の脅威にさらされながらも、少しずつ落ち着いてきている様子です。そこで、今回はインフルエンザなどをはじめとする感染症対策における、予防接種について取り上げてみました。

予防接種のお話

予防接種ってなに？



「予防接種」とは、病気に対して**免疫の効果をさせるために**、その病気の予防に有効であることが確認されている**ワクチンを注射、又は接種すること**をいいます。

人は病気に対する免疫(抵抗力)をお母さんからもらって生まれてきます。しかし、この免疫は永久的なものではなく、自然に失われてしまい、自分自身で免疫をつくって行かなければなりません。これに役立つのが予防接種です。予防接種をうたずにその病気に罹った場合は、症状が重く、高熱などによる脳炎や後遺症を起こす場合も多いとされています。予防接種を受けても100%病気に罹らないわけではありませんが、比較的軽症で済むといわれています。

どんなものがあるの？

予防接種で投与される物質(ワクチン)は、**生きている毒性を弱めた病原体**の場合や、**死んだり不活性化された病原体**の場合などがあります。

ワクチンで予防できる病気には下記のようなものがあり、ワクチン接種による副反応(死亡あるいは脳に重篤な障害を残す)危険性が高いため、日本では未認可のものもあります。また、日本国内では一般的に推奨されていないものでも、海外へ行く場合などは、その渡航先の風土に合わせ、予防接種していくことが進められるものも多いです。

ただし、一部の定期接種(ほぼ無料)以外はあくまでも『**任意**』(有料)であるため、本人の意思で種類や接種の有無を選ばなければいけません。

ワクチンで予防可能な病気

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| ・ A型肝炎 | ・ B型肝炎 | ・ インフルエンザ |
| ・ 黄熱 | ・ おたふくかぜ | ・ 狂犬病 |
| ・ 結核 | ・ コレラ | ・ ジフテリア |
| ・ 水痘 | ・ 天然痘 | ・ 日本脳炎 |
| ・ 肺炎球菌感染症 | ・ 破傷風 | ・ 百日咳 |
| ・ 風疹 | ・ ポリオ | ・ 麻疹 |



どのように接種するの？

予防接種の種類によって対象年齢や接種方法(回数)費用も異なりますが、法的に決められたものをその適正な時期に受けるということが大切なことです。たとえば保健所などの乳幼児健診などに行っている場合、保健所で無料実施されるものを利用できますし、小学校などで集団での予防接種(無料)をおこなう場合も多いです。

海外などでも、国や地域によって実施方法や内容が違いはありますが、先進国ではほとんどの国で感染予防対策として様々な形で実施しています。

MS(麻疹・風疹混合)ワクチン接種について

ここ数年来問題になっているのが、麻疹の集団発生です。

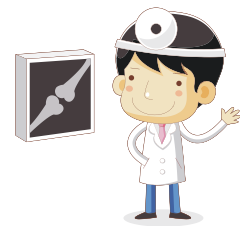
日本の小児のワクチン接種率は最近ようやく全国平均で80%に達しましたが、地域によっては50-60%とまだまだ低い状況にあります。世界の多くの国が麻疹対策に積極的に取り組んでいる中、**年間10万人規模の患者数の発生**が推計される日本の状況は、麻疹予防の後進国と言われても仕方ありません。

また、麻疹潜伏期間中に渡航した日本人観光客が、現地で発症し周辺に大きな迷惑を及ぼした事例も毎年のように報告され、日本は麻疹の輸出国であるということも指摘されています。

このように麻疹の流行は中途半端に抑制された状態で、そのため麻疹ワクチンの接種も受けていないまま成長した成人の間での麻疹(成人麻疹)の増加が目立っているということです。

そこで国の施策として、平成18年に予防接種法は改正され、幼児期に麻疹・風疹混合)ワクチンを2回接種して予防効果を強化し、さらに**平成20年4月から5年間に限り、中学1年生と高校3年生の年齢に相当する人たちに、追加接種(無料)すること**となりました。

未接種の人も1度目の接種をした人もこの機会にぜひ接種を受けるようにしましょう。



MS(麻疹・風疹混合)ワクチンの2回接種について

なぜ2回うつの？



- ・1回の接種で免疫のつかなかった場合(数%いるといわれている)に対応するため。
- ・1回でついた免疫が、時間の経過とともに減衰した場合、再度刺激を与えて、免疫を強固なものにするため。
- ・1回目に接種しそびれた人に、もう一度接種の機会を与えるため。



予防接種はなぜ受けるの？

予防接種には、二つの大きな意義があります。一つは予防接種を受けた本人がその病気にかからないように、あるいはかかっても重くならないように、もう一つは多くの人達がこれを受けることによって、その**集団にその病気が流行しないよう**にするということです。ごく稀にはありますが、予防接種の副反応によって健康被害を受けることもありますから、予防接種に関する正確な情報の提供や安全な予防接種実施体制の整備、健康被害を受けられた方々への救済措置の充実も求められるところです。

しかし、**結核罹患者の増大**、**麻疹の集団発生**、また今回の**インフルエンザの大流行**等々、また、昨今の食生活による免疫力の低下も問題視されている現状では、予防接種は病気に対する**欠かせない予防法**です。

社会の中の一員として、予防接種の大切さを理解し、決められた時期に、すすんで予防接種を受けましょう。

・緊急時の対応については、大学ホームページ News&Topics や大学ポータルシステム「**S-Nav!**」をご覧ください。

大阪商業大学ホームページ <http://ouc.daishodai.ac.jp>

